

# 30回連続完走! 日野レンジャーの挑戦

## 砂漠の激闘13日間

※政情不安で中止となった2008年大会を挟んで、1991年以来連続30回目の完走となります。



### ダカール・ラリーは、マシンを熟成させ、人を強くする。

サウジアラビアでの開催2年目を迎えたダカール・ラリー2021。日野自動車は、菅原照仁ドライバーとともに「日野チームスガワラ」として参戦。新型コロナウイルス感染拡大の影響から競技車両は1台、販売会社からのメカニック派遣も中止し、最小限の人員で挑みました。

レース序盤、車両が転倒するアクシデントがありながらも、迅速・確実な整備で競技に復帰。砂丘や岩場などが連続する難易度の高いコースでチーム一丸となり奮闘し「排気量10リットル未満クラス」で12連覇を達成。さらにトラック部門総合12位でフィニッシュし、初参戦以来、連続30回目の完走も成し遂げました。

日野自動車は、レースを通じた新たな技術革新に果敢に挑むとともに、携わるスタッフの成長を支え、ダカール・ラリーで得た経験を商品やサービスに活かしていきます。

### 激闘の舞台は、サウジアラビア。

今大会はサウジアラビア国内第2の都市ジェッダを基点(スタート/ゴール)に、反時計回りで国内を巡るコース。計12ステージからなる8,009kmの行程を約2週間かけて走り抜きました。出場車両286台(全カテゴリー合計)、総合完走率は67.5%。前回大会の65.5%をわずかに上回る結果となりました。



#### ステージ1

[ジェッダ〜ビシャ]  
競技区間276km

右側前後のタイヤが同時にバンクするも、迅速な交換作業で走行を再開。ステージ終了後、全体ミーティングと入念な点検整備を行い、初日を終わりました。



#### ステージ2

[ビシャ〜ワジアド・ダワシール]  
競技区間457km

砂地やカーブの連続など多彩に変化する路面を、機動性の高さを活かして走破。

#### ステージ3

[ワジアド・ダワシール(周回)]  
競技区間403km

ステージ前半の砂丘で転倒するトラブルが発生。キャブは変形し、フロントウィンドウやリヤボデーも大きく破損。幸いにも乗員3人がけがはなく、再び走りだし無事ゴール。

**ナビゲーター 望月裕司**  
「車体を起こすのに1時間以上かかりましたが、走る機能は無事だったのが不幸中の幸いでした」

#### ステージ5

[リヤド〜アル・カイシュマ]  
競技区間456km

#### ステージ4

[ワジアド・ダワシール〜リヤド]  
競技区間337km

#### ステージ6

[アル・カイシュマ〜ハイル]  
競技区間347km



#### 休息日

入念な点検整備を行い、リフレッシュ! 万全の状態の後半戦へ。

#### ステージ7

[ハイル〜サカカ]  
競技区間453km

#### ステージ9

[ネオム(周回)]  
競技区間465km

**ナビゲーター 染宮弘和**  
「分岐が多く、ずっとしゃべりっぱなしで喉が枯れました。ミスなくクリアできて良かったです」

#### ステージ8

[サカカ〜ネオム]  
競技区間375km

#### ステージ10

[ネオム〜アルウラ]  
競技区間342km

激闘を終えピバークに到着した日野レンジャー。完走および上位を目指すため、チームは改めて気持ちを引き締めました。



#### ステージ11

[アルウラ〜ヤンブ]  
競技区間464km

#### ステージ12

[ヤンブ〜ジェッダ]  
競技区間202km

**ドライバー 菅原照仁**  
「ステージ3での転倒後、チーム一丸となり競技に復帰できたことが大きかったです。全員の頑張りのおかげで完走できました。本当に感謝しています」